

Google サイトで情報発信

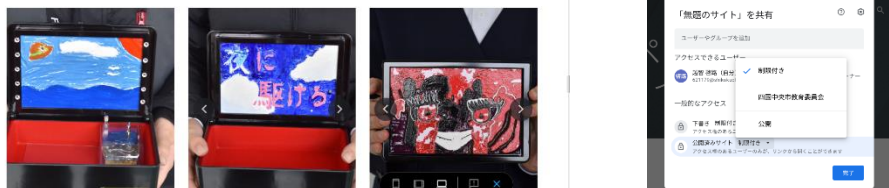
【内容】Google Workspaceの「Google サイト」で、保護者向けのウェブサイトを作成した。そのサイトでは、卒業記念制作のオルゴールや総合的な学習の時間に作成したドリームマップを掲載した。

【使用アプリ】Google サイト

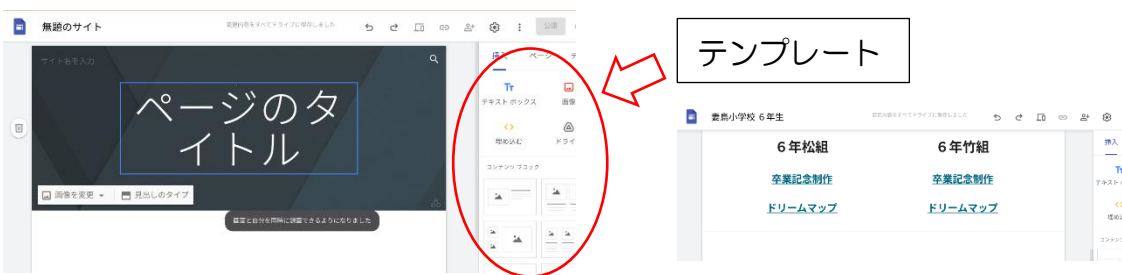
【事例紹介】

昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため参観日や造形展が中止になった。児童の作成した作品をどうか保護者の皆様に見て頂きたいという思いから、学年のホームページを立ち上げた。ホームページにアクセスできるのは、担任がアクセス権限を与えている児童のアカウントのみである。検索エンジンに引っかからないように設定もできる。外部からアクセスされ悪用される可能性はかなり低い。安心して子どもたちの写真を掲載することができる。

妻鳥小学校 6年生



Google サイトにはテンプレートも用意されており、それらを組み合わせながら気軽にウェブサイトを作成することができる。詳しい作成方法などはYouTubeなどに掲載されている。



【終わりに】カラースタンプされた学年だよりよりも、写真が鮮明に見ることができるのがウェブサイトの利点だと思う。また、何枚も写真を掲載することができるため、より多くの情報を発信できた。保護者も、この期間限定のホームページを喜んでくれていた。慣れるまでは大変だったが、次第にウェブサイト作りを楽しむことができた。レイアウトが自由で、これからの可能性を感じた。今後もサイトを活用しながら、保護者啓発や情報発信を積極的に行っていきたいと思う。

☆教育委員会主幹講評☆

感染症対策を継続しながら各行事等を運営していく中で、保護者や地域にどのように情報発信していくかが大きな課題でした。学年の子どもたちの様子をその場にいるかのように保護者が共有できるようにとの思いで生まれたのが、このGoogleサイトを活用したホームページだったのだと思います。Googleサイトは、Googleが無料で提供しているホームページ作成ツールですが、専門的な知識等を必要とせず、インターネット上にサイトを作成できます。また、他のGoogleのサービスとの連携もでき、非常に使いやすいものとなっています。「慣れるまでは大変だったが、次第にウェブサイト作りを楽しむことができた。」との感想にもあるように、ICTの活用は、はじめは労力や時間を要する場面もありますが、軌道に乗れば楽しみながら有効活用できることを証明してくれました。